

町政の 今を問う!

一般質問



6議員が14項目の質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
7~8	小畑貞夫 議員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 椿山ダムの流入土砂対策と今後の維持管理計画はどうか ・ 学校現場でのコロナ感染症への対策はどうか ・ 職員採用情報は町民に公平に知らせるべき
8	原 孝文 議員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月豪雨における椿山ダム操作 ・ ジャバラ栽培にむけての町の取り組みは
9~10	熊谷重美 議員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジャバラ栽培への具体的な支援策は ・ 通学路の交通安全確認と調査、その対処は ・ 福祉バス・タクシー券交付要綱条文の追加を
10~11	山本喜平 議員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの感染防止とPCR検査への助成拡充を ・ 学校給食無償化の検討はしているのか ・ 学校統廃合の取り組みはどこまで進んだのか
11	伊奈禎胤 議員	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ感染拡大の中、感染対策の徹底と啓発活動について ・ 公共スポーツ施設の延命のための基金を
12	龍田安廣 議員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休耕地を市民農園やキャンプ場として貸し出してはどうか

当初予算、補正予算、予算の専決処分とは

●当初予算

一会計年度の年間予算として、年度当初に成立した予算です。

●補正予算

当初予算成立後に、自然災害や社会情勢の変化で発生した予想し難い事により、予定通りの予算執行が困難になった時に、内容

を変更するように組まれた予算です。

●予算の専決処分

本来なら議会の議決・決定しなければならない事項について、町長の判断で議会に代わって意思決定し、執行できる予算です。主に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がない場合に実施されます。

全ての予算は、議会の議決・承認が必要です。

1

樺山ダムの流入土砂対策と今後の維持管理計画はどうか

県当局も現状を確認しており、本格的な検討に入る



小畑 貞夫 議員

問 樺山ダムの土砂撤去工事の内容はどうか。最近の気象状況を考えると、ダムの維持管理は重要である。ダムに流れ込む土砂は、山や谷川の浸食と突発的崩壊などであり、1年間に流れ込む土砂量は約19万m³(南山陸上競技場の2杯分)である。現在、どれだけ流入しているのか。

- ③ 堆積測量の反映、
- ④ 堆積測量の反映、
- ② 洪水調節内の土砂、
- ① 漏水量等未計測、

答 停電時の発電容量は改善されているのか。今後の流入土砂などの維持管理は、県はどう計画しているのか。

148万m³堆砂している。現在、計画堆砂量の3倍で堆砂が進んでいる。県には、毎年堆砂量を確認して必要な対策を要望していく。会計検査院の指摘については、①毎年計測実施、②現在災害復旧工事にて対応、③堆積測量をダムコンピューターに反映、④本年度に非常用予備電源設備更新工事を行うことで改善されている。県もダムの現状を確認しており、工法等本格的に検討していくと回答している。



土砂撤去工事

2

学校現場でのコロナ感染症への対策はどうか

国・県のガイドラインを基に保健所と連携して丁寧な対策を講じる

問 本町の保育園や学校において、コロナ感染者が確認された場合の対応はどうか。

また、保健所と保育園、学校の間で対策ガイドラインなどの制作や対策の協議は行われているのか。また、抗原検査キットの取り扱いはどうなるのか。教育現場で感染者が

出た場合の心のケアと子供たちの間で誹謗中傷や差別、いじめを起させない対策はどうしているのか。

答 保育園や学校においては、基本的に国や県のガイドラインに沿った指導や対応を行っている。感染者や濃厚接触者へは、保健所の指示、指導に従う。休園や休校措置については、保健所の指導により教育委員会と住民課が連携する。

また、差別や偏見、いじめにつながるような、お願ひ文書の配布や学級指導等を行っている。今後も実態に応じた丁寧な対応と指導を行うっていく。

3

職員採用情報は町民に公平に知らせるべき

公平に知らせる取組を行う

問 8月20日締切の職員採用試験の出願状況はどうか。

毎回思うのだが、町が求める人材についての記載がない。町の計画を実現するために、どんな人材が必要なのか。試験と1回だけの面接で人物像がわかるとは思えない。本町採用は、学力重視か人物重視なのか。また、採用要件も高校生や身体に障害のある方にも門戸を開くべきではないか。採用情報が全て公表されていない。仕事の

職種に関係なく、職員採用情報は、町民に広報などで公平に知らせるべき。

【答】 今年度の出願状況は、一般行政職5名、土木技術職1名、保育士5名である。

本町の職員像とは、タフさ、しなやかさ、積極性、興味を持ち情報に敏感な職員だが、本町の人材育成基本指針に準じる。

多様な試験方法については、今後検討を行うと同時に選考も人物重視としたいと考えている。

採用要件については年齢要件のみで、障害をもたれた方への正職員採用試験は行っていないが、今後も個々の特性や職場の環境に配慮しながら積極的に採用を行う。

採用情報もできるだけ公平にお知らせできる取組を行う。

1 8月豪雨における 椿山ダム操作

ひと安心であり、県へ引き続き要望していく



原 孝文 議員

問 盆前後の長雨は、日高川源流部で千ミリメートルに近い総雨量を記録するなど、10年前を彷彿させる規模で、町内各地に大小の爪痕を残した。しかし、心配された川の水位は思っていたほど上昇せず、洪水による被害はほとんどなかった。

椿山ダムへの流入、放流量を分析すると、ダムの操作が効果的であったように思う。

今回のように長雨が続き、雨のピークが複数回ある場合、大洪水

を防止するうえでダム水位を上げないようにすることは大きな意味をもつ。ピーク後の放流量は所長判断になっているが、30年も経験を積んできたなかで規則に盛り込むべきでないか。

【答】 10年前の事態が頭をよぎったが、雨の期間が9日間と長く、ピーク間の小康状態にダム水位を下げられたことが良かったのではないか。今回はピーク後の放流を流入量より毎秒100トンから200トン多くしている。

最近の異常気象による激甚化も考え、洪水調節も含めたダムの操作方法の見直しと、ダ

ム下流の河川整備計画箇所の早期着工を引き続き要望していきたい。

2 ジャバラ栽培にむけての町の取り組みは有望であり、助成を検討中だ

ム下流の河川整備計画箇所の早期着工を引き続き要望していきたい。



ジャバラ

の推進となると思うが、内容はどうか考えているのか。

また、販売先の開発や加工等にも取り組んでいく必要があると考える。町は今後どう関わっていくのか。

【答】 昨年、和歌山市内の会社「ジャバラポラトリー」の役員から、果皮から抽出した物質の製品化をしたが、原料のジャバラを町内で栽培してはどうかとの提案をいただいた。

未成熟の青い果実でない。

収穫するので、シカやイノシシさえ防げばサル被害は心配ない。手間がかからないことから、耕作放棄地の解消や高齢者の収入にもつながると考える。

現在、9軒の農家で「ジャバラ研究会」を組織しており、町として苗木や植え付け資材に助成ができないか検討している。

加工等は、生産量が増えた先での課題であり、そこまでは描けていない。

町単独の補助事業で

1 ジャバラ栽培への 具体的な支援策は

他の農作物との兼ね合いを見極めながら植え付け資材を支援



熊谷 重美 議員

問 町長二期目の取り組みの一つとしてジャバラ栽培について、将来性がある、高齢者でも取り組める、耕作放棄地を減らしたい、支援をしていく等発表された。具体的な支援策は何か。果実の収穫まで年月がかかり、気持ちは途切れないための手立てが必要と思うが、どう考えているのか。専属は無理でも職員配置は必要と思うがどうか。果実を買い取ってくれる会社との口約束だけではなく、

仮契約も必要と思うがどう考えているのか。
答 支援については、苗木代、土壌改良材等、植え付け資材などを考えている。他農作物との兼ね合いも見極めながら、ジャバラを推進するには、何が一番良いか担当課で検討中。栽培に着手された皆さんで組織しているグループで栽培研究などされ、気持ちの持続に努めていただきたい。職員対応については、中心になる方がおればもう少し広がっていくかなど期待は持っているが、現状では約束できない。仮契約については、こちらがどれだけ対応できるか見極めなければならぬが、口

約束だけではなく仮契約は必要と思っている。

2 通学路の交通安全確認と調査、その対処は

調査し、対処している

2

問 7月に、通学路交通安全推進会議が開かれ、何らかの対策を講じなければならない箇所を18カ所としているが、他にも歩道整備、速度規制、グリーンベルトの設置、横断歩道のラインが消えている等々あるが、把握しているか。8月4日、交通安全対策に関する閣僚会議が開かれ、総理は、ソフト面ハード面を組み合わせた効果的

な対策を10月末までに作成し、実施すると述べられていたが、本町でこれに該当する箇所はないのか再度安全確認、調査し対処していただきたい。児童への交通安全指導も重要な課題と思うがどうか。
答 学校より提出された危険、要注意箇所は38カ所で内18カ所は、御坊署と連携で取り組み対処している。他にも対策を講じなければならぬ箇所を把握はしている。国から点検の指示があり、各学校から点検結果が提出されている。ガードレール、歩道設置等のハード事業は10月末までに作成し報告する。子ども達への交通安全指導については、ルールを守り安全行動ができる態度、能力を身につけさせることを目標に取り組んでいる。

3 福祉バス・タクシー券交付要綱条文の追加を

緩和・幅を広げる形にできるように精査する

問 福祉バス・タクシー券交付要綱第2条では、助成を受けることができる者として、身体障害者1級及び2級、療育手帳、精神障害保健福祉手帳の交付を受けている者とあ

る。手帳の交付は受けていないが、医師から運転を控えるよう指示され、外出に困難をきたしている人のためにこれに準ずるといふ項目の追加は考えられないか。医師の診断書の添付など条件は付けなければならぬと思う



通学路

かどうか。

運転免許を持たない70歳以上の方の同居人（70歳未満）が運転免許証を取得していない場合、70歳以上の方のみ助成対象にしてはどうか。

答 手帳取得者と変わらない状態の方がおられると思うので一度精査する。

70歳以上の方のみで構成されている世帯を想定しているが、70歳未満でも運転免許を持たない高齢者世帯であれば、交通手段に困っていると思う。ある一定の年齢以上ということになるが、少し緩和、幅を広げる形にできるよう精査する。

今回広げればしばらく様子を見る。その中で困っている方が多く発生すれば、また考える。

1 子どもの感染防止とPCR検査への助成拡充を

抗原検査で感染防止に対応したい



山本 喜平 議員

問 学校、保育所、学童保育所などでの感染拡大を防ぐために

①室内でのエアロゾル感染防止へ、短時間での全換気と不織布マスク着用を重視すべきではないか。

②抗原検査キットを活用しての子どもと職員の簡易検査を頻回に行うべきではないか。

また、社会的PCR検査費への助成を検討し拡充すべきではないか。

答 ①学校では、検温や健康観察、手洗いの励行、消毒、マスク

着用等の指導をはじめ、換気のための網戸を設置している。

保育所では、定期的な換気を行い、空気清浄機を使用し、エアロゾル感染の防止に努めている。不織布マスクの着用は、保護者の理解が得られた場合、着用している。

学童クラブでは、定期的な換気を行っている。空気清浄機の配置も予定している。マスクの着用は、手洗いなどとともに指導している。

②抗原検査の活用方法について、県や医療機関との協議を経て、実施体制を整えている。有効に活用したい。

PCR検査費助成の拡充について、本町は、抗原検査による感染防止対策を準備しているところなので、当面は抗原検査で対応したい。



抗原検査キット

2 学校給食無償化の検討はしているのか

今はまだ無償化の段階ではない

問 日本国憲法が定めている「義務教育の完全無償化」の取り組みとして、小・中学校の給食を無償化すべきと考える。

町長は、すべての小・中学生の給食費を無償にすることは、親子方式による共同調理が軌道に乗れば検討する旨、表明していた。

今年度も子育て支援商品券を交付するが、給食の無償化は検討しないのか。

答 学校給食は、児童生徒の心身の健やかな成長と健康な生活を送るために、重要な教育活動の一環であることは理解している。給食の無償化について、そこまでしなくてもいいのではとの意見

や、子どもの施策ばかりという意見など多く聞く。本当に困っている保護者があれば、制度の上乗せや拡充・拡大支援などを考える方が、町民の理解を得られるのではとされている。

3子以降の給食費無償化は、少子化を少しでも食い止めたという施策として理解を得ていると思うが、第1子、第2子については、反対意見もあることから、現行の子育て支援商品券で保護者を支援することが、現状ではベストな方法とされている。今はまだ無償化の段階ではないと考え、検討に入っていない。

3 学校統廃合の取り組みはどのくらい進んだのか

検討委員会で方針や方向性を示したい

問

「児童生徒数の減少に伴う教育環境に関する保護者アンケート」の調査結果を地方紙や町のホームページ等で公表している。今後の取り組み方も含めて聞きたい。

①教育委員会はアンケート結果をどのように受け止めたのか。
②今後、小・中学校の適正配置に関する検討委員会を設置し、町民アンケートの検討をするようだが、調査結果の公表をすべきではないか。

答

①教育委員会としては、今回のアンケート結果を真摯に受け止め、本課題について誠実に取り組んでいきたい。

特に、地域や学校に

よっては、児童生徒数の減少に伴って、切実な思いがアンケートからも読み取れるので、検討委員会で議論を重ね、今後の方針や方向性を示していきたい。

②10月中旬を目途に日高川町立小・中学校の適正配置に関する検討委員会を設置したい。年度内に数回会議を開催し、町民アンケートの内容検討、学校統廃合の課題について本格的に議論を重ねたい。町民アンケートは、1千世帯を対象に実施すべく、準備を進めている。年内にアンケートの集計を行い、検討委員会での協議を経て、町教育委員会のホームページに掲載し公表したい。

1 コロナ感染拡大の中、感染対策の徹底と啓発活動について

感染予防対策を徹底し、啓発方法を工夫し、住民に伝える



伊奈 禎胤 議員

問

全国的に感染者が増える中で、ワクチン接種の対象でない12歳以下の子どもの感染が増えている。家庭内感染が多いようである。ワクチン2回接種が完了すれば、コロナ感染しないと思われる方が多いようである。個々に感染対策を徹底してもらったためにも、強固な啓発活動が必要でないか。

答

ワクチンを2回接種しても感染する場

合があり、他の人に感染させる可能性がある。マスクの着用や手洗い、3密を避ける感染予防対策を記載した啓発チラシを配布し、口頭でも感染対策を怠らないよう伝えている。ワクチン接種後も感染対策を徹底するよう、啓発方法を工夫し、住民にしっかり伝える。



2 公共スポーツ施設の延命のための基金を

公有財産管理基金を活用し、計画的に進める

問

長期に利用するには、早期復旧修繕するには、早期復旧修繕することにより費用が安く済み、経年劣化が進むにつれ、維持管理費が多くなる。多くの方に長く利用していただくためにも、対応策として蓄えるべきではないか。

答

施設を長期に使用

用するには、早期に修繕することにより修繕費が安価で済むことから、日常の点検や職員でもできるメンテナンスの方法など、専門家を招いての研修会を開催予定である。今後とも公有財産管理基金を有効活用し、計画的に進めていく。



かわべテニス公園整備現場

1

休耕地を市民農園や キャンプ場として貸 し出してはどうか 貸す人達の副収入につながるれば、 どんどん進めていきたい



龍田 安廣 議員

問 町内の休耕地や耕作放棄地で、家屋周辺地域ではヒマワリ、コスモスなど様々な季節に合った花を植える。種については全額補助とする。また、山に近い所では、桜、成長すればシイタケのほだ木になるドングリ、備長炭として使えるウバメガシなどを植える。



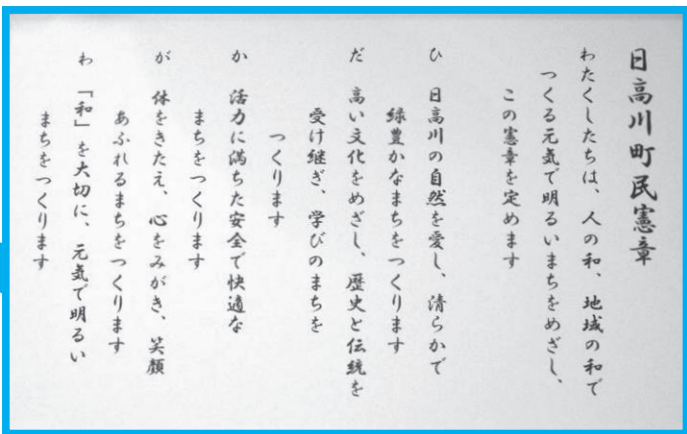
休耕地

答 休耕地や耕作放棄地の景観地対策として花などを植えることについては検討して

り、都会より人の流入がたやすくなるため、市民農園やキャンプ場として貸し出してはどうか。市民農園やキャンプ場については、貸すことにより事業が成り立つということであれば、貸す人達の副収入につながるっていく。法律で決まったところは逸脱はできないが、うまくそこをクリアできれば、どんどんそういったことも進めていきたい。

議場に町民憲章ボードを設置

平成27年5月1日に制定された町民憲章を、町民の方に知っていただき、愛郷心を高めてもらうために設置しました。



日高川町民憲章

わたくしたちは、人の和、地域の和で
つくる元気で明るいまちをめざし、
この憲章を定めます

ひ 日高川の自然を愛し、清らかに
緑豊かなまちをつくります

だ 高い文化をめざし、歴史と伝統を
受け継ぎ、学びのまちを
つくります

か 活力に満ちた安全で快適な
まちをつくります

が 体をきたえ、心を見がき、笑顔
あふれるまちをつくります

わ 「和」を大切に、元気で明るい
まちをつくります

